

世界ローターアクト週間にあたって

当地区のローターアクトの現状と今後

地区ローターアクト委員会

委員長 **辻本 一義**
(東大阪RC)

当地区のローターアクトの活動は、昭和43年に大阪北ロータリークラブが、ローターアクトを提唱して以来、長い年月に互り活発な活動を続け、将来の日本を背負って立つ青年男女の育成に大きな成果をあげて参りました。

ローターアクター達は、クラブ単位での月2回の例会の他、各種研修、奉仕活動と共に、地区での会議・行事を頻繁に消化して多くの経験を積み、どんどん成長を続けております。例えば、昨年10月31日～11月4日のマレーシアへの海外研修では25名が参加し、現地において、家族に見放された重度の障害者の施設を訪問しての奉仕活動や、海岸での清掃活動で大型トラック満載のゴミ処理などを現地のロータリアンやローターアクター達と行き、国際奉仕、国際親善を十分に果たすと共に多くの事柄を学び大きな成果をあげました。

当地区には現在、20のローターアクトクラブがありますが、地区内60以上のクラブが未提唱でローターアクトを運営されておられません。未提唱クラブにあつては、ローターアクト運営の経験がないために、ローターアクトについての知識も認識も非常に薄いのが現状です。

しかしローターアクトは、RIのテーマであり、地区全体で取り組むべきものです。そこで今後、未提唱クラブにおかれましても、何らかの形でローターアクトの活動に参加して頂くことを期待しております。

当地区全体のローターアクトのメンバー数は、10年前の441人をピークに、300人を超える状況が続いていましたが、その後減少傾向が続き、今年度は約240人になっております。そこで会員増強のために、当委員会が前年度から取り組んでおります、IM単位での、未提唱クラブによるローターアクトクラブに対する会員紹介をして頂くサポートシステムの活用を全クラブにお願いする次第です。ローターアクトの活動がこれからも健全に続く様に、全クラブの方々にご協力をお願い致します。